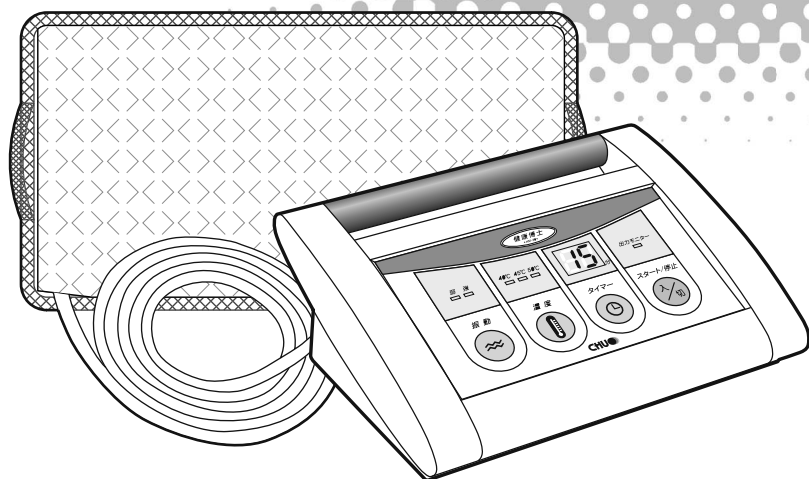


家庭用温熱治療器(磁気+振動+温熱)

健康博士®

医療機器承認番号 21700BZZ00186000

HM-30 取扱説明書



このたびは、**健康博士**をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

もくじ

注意事項	1
必ずお守りください	2
各部のなまえ	3
正しい使い方	4~6
メンテナンスについて	6
故障かなと思ったとき 仕様・アフターサービス	7

下記の禁忌・禁止サインが付いている文章は、必ずお読みください。

⚠️ 禁忌・禁止

この表示を無視して、誤った取扱をすると、障害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意サイン

取扱説明書本文に出てくる注意サインの部分は、製品を使用する前に注意深く読み、よく理解してください。

注意事項

⚠ 禁忌・禁止

- 1) 治療目的以外には使用しないこと。
 - 2) 治療に必要な時間・量を超えないこと。
 - 3) 以下の症状を示す人、又は診断を受けた人は使用しないこと。
 - ・心臓疾患のある人（ペースメーカー使用者への使用）
 - ・体内埋め込み型電子機器を使用されている人
 - ・認知症の方、乳幼児など、意思表示ができない、体の自由が利かない人
 - ・発熱中の人
 - ・衰弱している人（安静を必要とする人）
 - ・悪性腫瘍のある人
 - ・温度に対する知覚障害（温度感覚喪失）がある人
 - ・妊娠している人または出産直後の人
 - ・適用部位の皮膚に異常（感染症・傷・かぶれ等）のある人
 - ・伝染性疾患の人
 - ・重度の高血圧症の人
 - ・その他医師が不適当と判断した人
- [症状を悪化させる恐れ又は悪影響を与える恐れがあるため]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意事項

- ・はじめて使用する場合は、一番低い温度設定（40℃）から使用を開始すること。
- ・振動により使用者の温熱感覚が低下し低温やけどを起こす危険が高いため、機器の温度選択には十分に注意すること。
- ・心地良いと感じる温度設定で使用する。
- ・少しでも熱いと感じた場合は、使用を中止して、パックが冷えてから、温度設定を下げる、パックにタオルを巻き付ける等、体感温度を下げてから使用すること。
- ・熱さを我慢して使用しないこと。
- ・こたつの中や電気毛布、布団の中で使用しないこと。
- ・機器及び使用者に異常が発見された場合には、直ちに使用者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な処置をとること。
- ・子供や身体の不自由な方には、付き添いなしでは使用しないこと。
- ・機器に乳幼児がふれることの無いようにすること。
- ・かゆみ・かぶれなどの症状が現れた場合は、使用を中止のこと。
- ・傷やかぶれのあるところには、使用しないこと。
- ・パップ剤（シップ）等を貼り付けた部位に使用しないこと。
- ・しばらく使用しても、効果が現れない場合には、医師又は専門家に相談してください。
- ・高温設定で長時間使用すると皮膚にやけどが生じる恐れがあります。
- ・睡眠薬等を服用した人及びめいいてい（酩酊）状態の人は使用しないこと。
- ・本器を使用するにあたって、体調や持病について不安な点がある場合は、使用前に医師に相談し、指示を仰ぐこと。
- ・次のような症状のある方は、使用前に医師に相談すること。
 - ① 人工関節や金属製ステント等、体内埋め込み型医療機器を使用している部位への使用。
 - ② 糖尿病などによる高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人。
 - ③ 体温 38℃以上（有熱期）の人。（例 急性炎症症状 [けん（倦）急感、悪寒、血圧変動など] の強い時期）
 - ④ 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
 - ⑤ 低温やけど（病院で治療が必要な）をしたことのある人
 - ⑥ その他、治療中の持病がある方。（高血圧症、不整脈、睡眠時無呼吸症、ぜん息の人など）

2. 機器設置に関する注意事項

- ・極端に高温な場所や直射日光のあたる場所には設置しないこと。
- ・水など液体のかかる恐れのある場所には設置しないこと。
- ・化学薬品の影響やガス発生のある場所には設置しないこと。
- ・湿度やほこりの多い場所には設置しないこと。
- ・傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所には設置しないこと。
- ・電位治療器やマイクロ波治療器、超短波治療器などの付近で使用しないこと。
- ・電気磁気治療器等の、強力な磁気を出す機器の付近に設置しないこと。
- ・交流 100V 以外のコンセントに接続しないこと。（海外で使用する場合は、適切な容量の電圧変換器を使用すること）

- ・マルチタップに接続して使用する場合は、マルチタップ合計の許容電流が定格値を超えないように注意すること。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりしないこと。
- ・濡れた手で電源プラグを持たないこと。
- ・電源コードに重いものを載せたり挟み込んだりしないこと。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと。
- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使用しないこと。

3. 機器を使用する前には次の事項に注意すること（日常点検）

- ・すべてのコードの接続が正確かつ完全であることを確認すること。
- ・操作つまみ、ダイヤル、スイッチ、タイマーなどが、正常に作動するか確認すること。
- ・しばらく使用しなかった場合は、前記に準じるほか、人体に当てる前に機器が正常かつ安全に作動することを確認すること。

4. マグナーパックの取り扱いには次のことに注意すること

- ・マグナーパックはコードを持ってぶら下げたり、振り回したりしないこと。
- ・マグナーパックのプラグを抜くときは、コードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜くこと。
- ・金属製品及び金糸の入った衣服の上からは使用しないこと。
- ・治療中は磁気などに弱い時計・IC カード等は外しておくこと。
- ・直接皮膚に当てる場合はカバー又はタオルを巻くか、最低温度で使用すること。

5. 機器の使用中は次のことに注意すること

- ・治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
- ・機器全般及び使用者は、異常のないことを絶えず監視すること。
- ・機器及び使用者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
- ・機器に乳幼児がふれることのないように注意すること。
- ・雷、地震発生時は使用を中止し電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。
- ・停電のときは直ちに電源を切り、スイッチなどを元の位置に戻すこと。
- ・機器に故障が発見された場合は、使用を直ちに中止し、電源を切ること。

6. 機器の使用後は次のことに注意すること

- ・定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
- ・機器本体、付属品、コード、マグナーパックなどは清浄したのち、整理して、湿気の少ないところにまとめておくこと。
- ・コード類を取り外すときは、電源プラグを持って引き抜くこと。電源コードを引っ張らないこと。
- ・電源コードを本体に巻き付けて収納しないこと。
- ・マグナーパックは折り曲げて保管しないこと。
- ・マグナーパックにコードを巻き付けて保管しないこと。

7. 相互作用

- ・他の医療機器（電気治療器、電位治療器、マイクロ波治療器、超短波治療器、赤外線治療器等）と同時に使用しないこと。
- ・本体やパックに輻射式の電気ストーブの熱が直接当たらないようにすること。
- ・本体やパックにファンヒーター（石油・電気・ガス）の温風が直接当たらないようにすること。
- ・予期せぬ副作用が発生する恐れがあります。

8. 不具合有害事象

1) 使用時の体調変化など

- ・使用者の症状や体調に少しでも異常が発生した場合は、速やかに使用を中止すること。
- ・異常とは、頭痛、貧血、嘔気、気分不良、不整脈、めまい、異常発汗、耳鳴り、発疹・痒み等の訴え・兆候あるいは症状などとする。
- ・使用中止後、しばらくしても改善が見られない場合は、医師の診断を受けること。

2) 高齢者への適用

- ・温度設定は使用者の体温・室内温度・治療時間を考慮の上、温度選択を行なうこと。
- ・やけどには十分に注意を払うこと。

必ずお守りください

⚠️ 注意

マグナーパックは直接肌にあてないでください。

また、ふとん、コタツ内での使用はおやめください。

使用したまま、寝ないように注意して下さい。

低温火傷の原因になります。

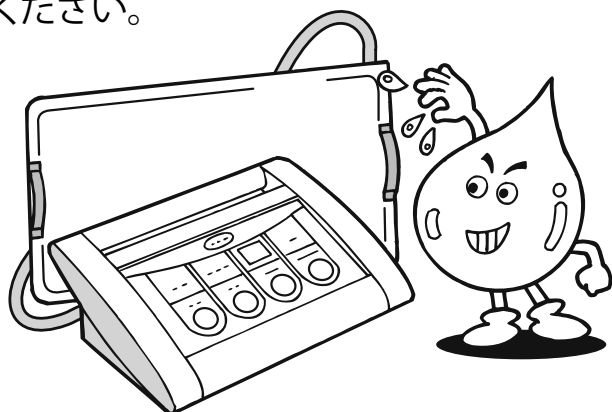


治療時間は30分以内で、1日3回を限度としてください。



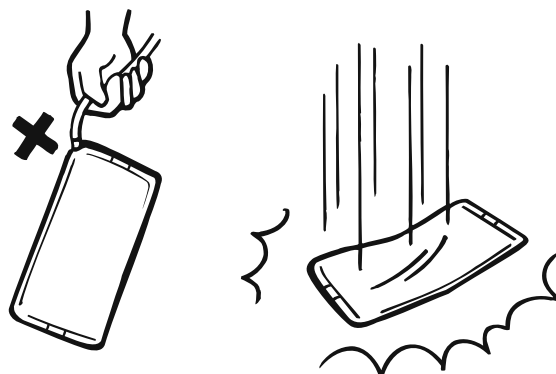
新陳代謝が良くなり疲労感を感じることがあります。

水をかけないでください。かかった場合は、すみやかに拭き取ってください。



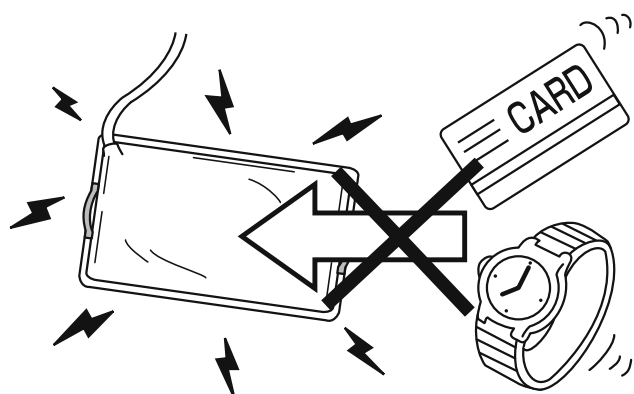
感電、故障の原因になります。

マグナーパックのコード部分での持ち運びはしないでください。また、落としたり、衝撃を与えないでください。



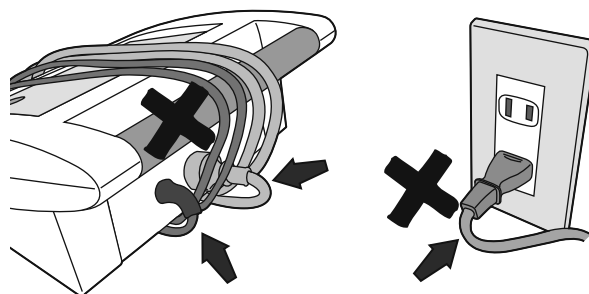
故障の原因になります。

時計や、IC・磁気カードなどは近づけないでください。



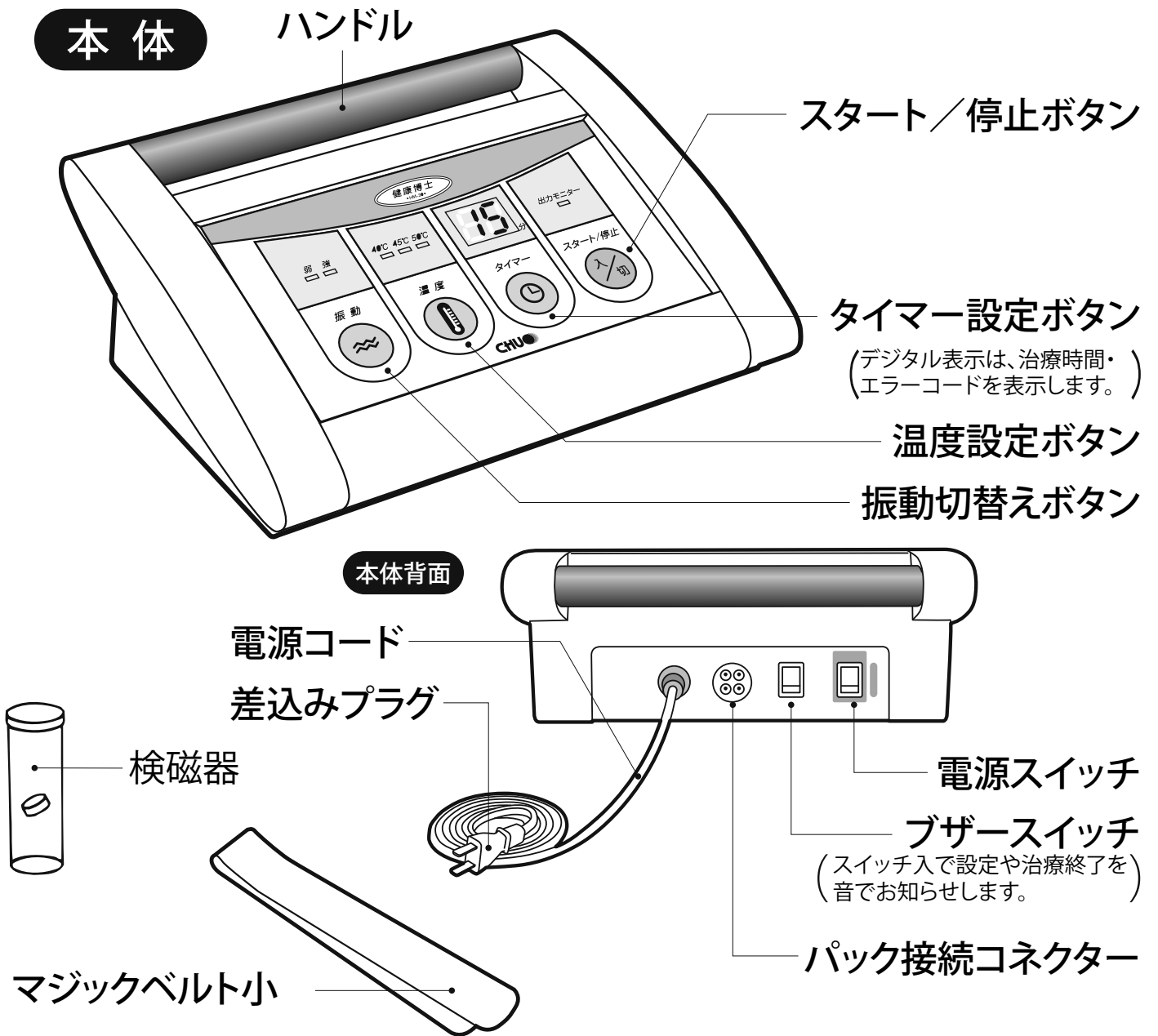
マグナーパックからは磁力線が出ています。

コードを本体に巻き付けしないでください。



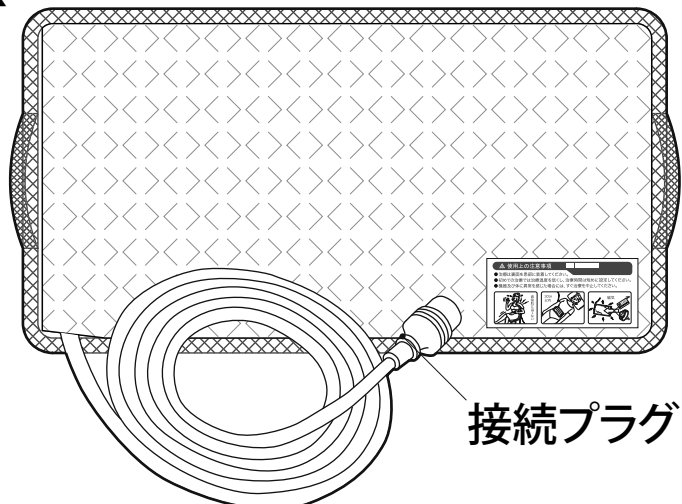
コードを強く曲げないでください。特にプラグの際は注意してください。コードが早く劣化、断線する恐れがあります。

各部のなまえ



スーパーマグナーパックMX (パックカバー付)

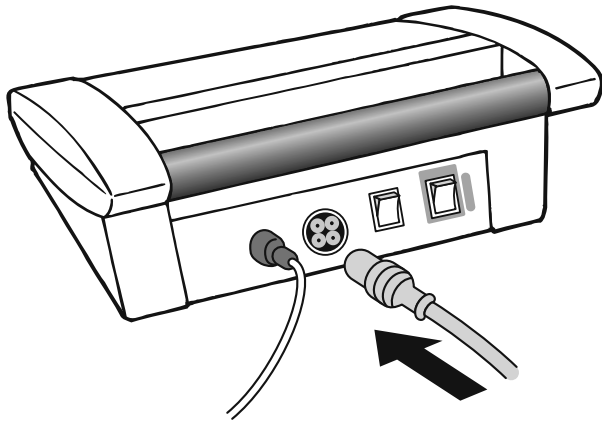
※取扱説明ではマグナーパックと省略させていただきます。



正しい使い方

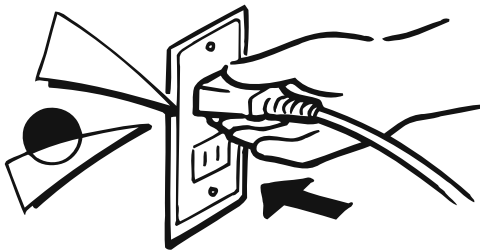
1 マグナーパックを本体に接続する。

- ・マグナーパックの接続プラグを本体のパック接続コネクタに、根元まで確実に差し込んでください。

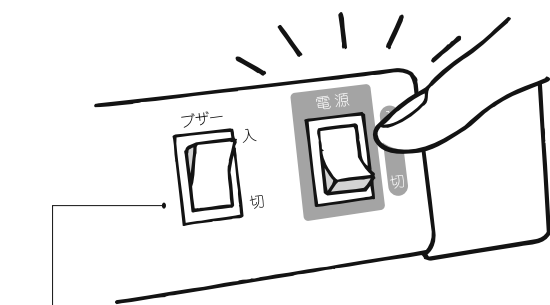


2 コンセントに差込みプラグを差し込む。

- ・根元まで確実に差し込んでください。



3 電源スイッチを入れる。



ブザースイッチ

(出荷時「入」になっています。)

- ・音が気になる時は「切」にしてください。

4 タイマーをセットする。

- ・タイマーは、30分まで5分間隔でセットできます。
- ・タイマーボタンを1回押すごとに5分ずつ時間が変わります。

※1分間隔での設定はできません。

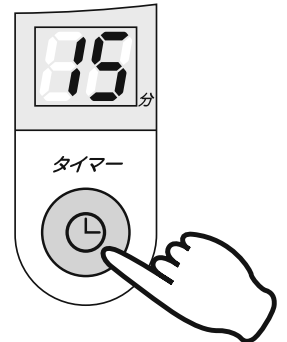
※ブザースイッチONの時、

10分設定時「ピッ」

20分設定時「ピッ、ピッ」

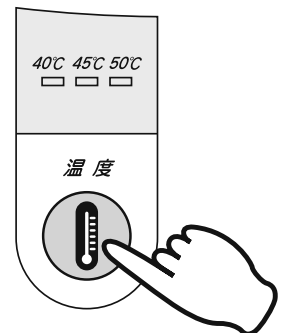
30分設定時「ピッ、ピッ、ピッ」

と音が出ます。



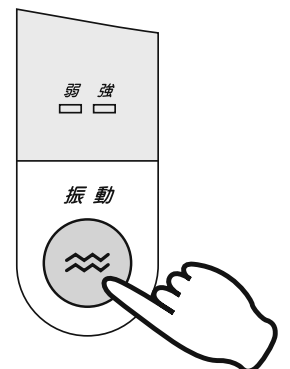
5 温度設定をする。

- ・治療温度は、温度設定ボタンで40℃、45℃、50℃の3段階に切り替えることができます。お好みの温度で調節してください。
- ・ボタンを1回押すごとに順番に切り替わり、元に戻ります。



6 振動の強弱を選択する。

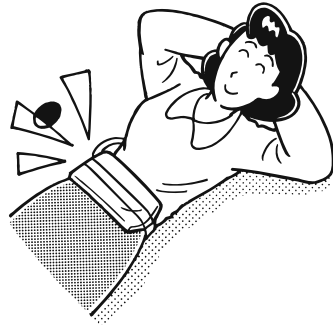
- ・振動切替えボタンで切り替えます。
- ・ボタンを1回押すごとに「強」、「弱」が切り替わります。
- ・お好みにより切り替えてください。



正しい使い方

7 マグナーパックを患部に あてる。

- ・マグナーパックは、衣服の上からあててください。
- ・マグナーパックを直接肌にあてる場合は、必ずパックカバーを着けて、最低温度で使用してください。



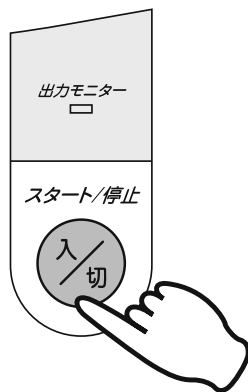
⚠️ 注意

金属製品を付けた上からは、使用しないでください。金属が過熱し、火傷の原因となります。

又、ふとん、コタツ内及び湿気の多い場所での使用はおやめください。

8 治療開始 スタート/停止ボタンを 押す。

- ・ボタンを押すごとに「入」、「切」が切り替わります。
- ・出力モニターのランプが点灯し、パックが振動を始めます。しばらくすると点滅します。



■ 治療を途中でやめたいとき

⇒スタート/停止ボタンを押します。

■ 動作に異常があるとき

⇒スタート/停止ボタンを押し、マグナーパックをはずす。

※ブザースイッチONの時、停止時に「ピッ」と音が出ます。

9 治療終了。

- ・時間がくれば治療は終了し、タイマー表示は設定した時間に戻ります。
※ブザースイッチがONの時、連続音が「ピー」と鳴ります。
- ・電源スイッチを切ってください。
- ・差込みプラグをコンセントから抜いてください。

⚠️ 注意

- ・一回の治療時間は、30分までとし、1日3回を限度とします。長く使用しますと、新陳代謝が良くなり過ぎ、疲労感を感じる場合があります。
- ・使用後に、コード類を本体やパックに絶対に巻かないでください。コードの一部に負荷がかかり劣化を早めて断線する可能性があります。

治療時間と温度の目安

温熱効果による

- ・疲労回復
- ・血行促進
- ・筋肉のコリをほぐす
- ・筋肉の疲れをとる
- ・神経痛、筋肉痛の緩解
- ・胃腸の働きを活発にする

には、以下のような時間と温度設定が効果的です。

タイム(分)	温度	振動
10～15分	45℃	強弱 お好みに 合わせて

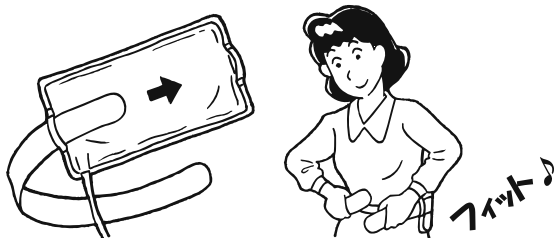
メモリー機能について

本機は、電源スイッチを切っても、設定(温度、時間、振動)を記憶しているメモリー方式を採用しています。

※ 電源プラグを抜いても同様に設定を記憶しています。

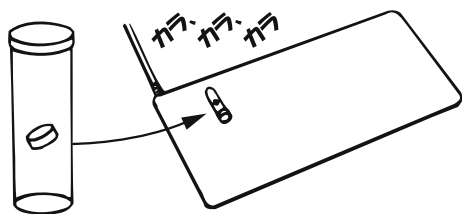
マジックベルト

マジックベルトを使用すると、ズレを防いだり患部との密着が増します。



磁力線の発生

検磁器で確認できます。
マグナーパックに近づけると容器内のテストピースが(磁石)が激しく動きます。



安全機能について

マグナーパックの温度が異常に上がった時、通電を停止します。

(異常温度上昇防止装置内蔵)

⚠ 注意

通電を停止した場合、そのままの状態でお待ちください。温度が下がると動作します。再度、通電停止する場合、故障の可能性があります。使用をただちにおやめください。

メンテナンスについて

1 保管方法

- 長時間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体及びマグナーパック等を清浄し、直射日光が当たらない場所、高温多湿にならない場所、ほこり等の少ない場所、水のかからない場所に保管してください。

2 点検について

- 定期的に次の確認を行ってください。
- マグナーパックの布カバーを外して、カバー(レザー)に破れや汚れが無いことを確認してください。
- 電源プラグが汚れていないこと。汚れている場合は清浄してください。
- 電源コード、導子(パック)コードに汚れや傷、無理に折り曲げたような跡が無いことを確認してください。
- パックや本体の汚れは乾いた布か、少し湿らせた布で拭き取ってください。
- マグナーパック類は消耗品的要素があるので、破損状態等を見極め、定期的に点検又は交換してください。
- パックカバーは取り外して洗濯することが出来ます。
- 定期的な点検は一か月に1回の頻度で点検を行ってください。

3 異常があった場合は

- 本器やパックに損傷、断線など、異常が見つかった場合は無理に使用せず、販売店又は製造販売業者に連絡してください。

故障かなと思ったとき

症 状	確 認 項 目	処 置
電源が入らない	差し込みプラグがコンセントから抜けていませんか。	差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチは、ON になっていますか。	電源スイッチを、ON にしてください。
温熱・振動が出ない。 または 時々出たり 出なかったりする	EPのエラーコード表示が出ていますか。(電子回路の故障)	販売店または製造販売元にご連絡ください。
	ESのエラーコード表示が出ていますか。(温度センサーの異常)	パックを確認してください。再度発生する場合は、販売店または製造販売元にご連絡ください。
	パックはパック接続コネクタに正しく根元まで差し込まれていますか。(4頁参照)	コネクタは二段構造になっています。二段目のコツン!となるところまでしっかりと差し込んでください。
パックが加熱する	温度設定は適正位置になっていますか。	常時適正な温度設定をしてご使用ください。
	ふとん、コタツ内でご使用になっていませんか。	正常な使用方法でご使用ください。

※ 上記処置で直らない場合、またはそれ以外のトラブルの場合はご使用を中止して販売店、または製造販売元へご相談ください。ご連絡いただく際は、次のことをお知らせください。

- 製品名 健康博士
- 製品番号 HM-30
- 製造番号 (例) No.14030001
- 購入年月日 (例) 2012年8月1日
- 購入先 (例) ○△販売店、担当者名
- 症状 (例) 電源が入らない?

保証書が本体ウラの器体シールをご覧ください。

仕 様

類 別 : 機械器具 78 家庭用電気治療器
一般的名称 : 家庭用温熱治療器
(JNDN コード 71017000)
管理医療機器 (クラス II)
販売名 : 健康博士 HM-30
医療機器承認番号 : 21700BZZ00186000

電 源	AC 100V、50/60Hz	
消費電力	99 W	
最高温度	50°C ± 5°C (自動温度調節装置内蔵)	
安全装置	温度過昇防止装置内蔵 (異常温度上昇防止)	
寸 法	本体 : 208 × 272 × 110 mm スーパーマグナーパック MX : 390 × 200 mm	
総重量	約 3.2 kg	

■ セット内容

- ・本体 1台
- ・スーパーマグナーパック MX (パックカバー付) 1本
- ・マジックベルト 1本
- ・検磁器 1個
- ・添付文書 / 取扱説明書 / 保証書 / 登録ハガキ 1式

アフターサービス

■保証書 / 登録ハガキ (添付)

同封の「お買い上げ登録証」の各項目にご記入のうえ、切りとって当社までお送りください。当社のお客様登録リストに登録し、同時に保証効力がスタートします。保証書は大切に保管してください。紛失されても再発行はいたしません。

製品の故障及び修理、お取扱いについてのお問い合わせは

お客様係にお問い合わせ下さい。

 0120-013-579

受付時間 午前 10 時 ~ 午後 4 時
月曜日 ~ 金曜日 (祝祭日を除く)

製造販売元

科学で健康を考えるメディカルシステム

株式会社 チュウオー

(28B2X00011)

本社・大阪営業所

〒665-0874 兵庫県宝塚市中筋 1-9-32

TEL.(0797)88-2121 (代) / FAX.(0797)88-1313